

令和7年度事業報告

令和7年度は、物価上昇や人手不足の深刻化、高齢化率が過去最高水準の29.3%に到達するなど、社会経済情勢が住民生活に多方面で大きな影響を及ぼした一年となりました。国全体で人口減少と高齢化が進む中、東郷町においても総人口が緩やかに減少する中、65歳以上の高齢者人口は増加を続け、高齢化率は年々上昇し、地域の担い手不足が深刻化しています。

このような状況の中、当センターにおきましては、地域社会の人手不足や現役世代の下支えを担う労働力として、会員が、豊富な知識や経験、技能を活かして人生100年時代をいきいきと働き続け、地域貢献できるよう、就業の拡大や会員の増員などの活動を推進してまいりました。

本年度は、「第4次中期計画」の4年目として、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、重点目標に「会員の増強」「就業拡大及び安全・適正就業」「財政の強化及び組織の充実」の3つを掲げ、目標を達成できるよう役員を中心に取り組んでまいりました。会員の状況は、入会者数は25名、退会者数は41名で令和7年度末の会員数は278名となり、前年度末の294名から16名の減少となりました。退会理由については、加齢や健康上の理由が全体の約80%を占めており、会員の高齢化が進行していることが、会員数減少の主な要因として顕著に表れております。

事業実績として、請負事業では、新規受注として町立保育園の清掃業務を開始したほか、既存の発注先から新たに食堂の準備・片付け業務や玩具製作業務を受注するなど、就業分野の拡大が進みました。その結果、受託件数は前年度より8件増加し、就業延人員、配分金も昨年実績を上回ることができました。派遣事業に関しては、受注件数が1件減少しましたが、就業延人員、契約金額とも前年度を上回る結果となりました。

安全就業においては、安全・適正就業委員によるパトロールや職班別安全研修、安全運転講習会などで安全意識の向上に努めてまいりましたが、草刈作業中の飛び石による賠償事故が1件発生しました。また、屋外作業中の会員が熱中症で救急搬送される事案が1件発生するなど、気温上昇が続く中で、熱中症リスクが年々高まっていることが改めて確認されました。

また、本年度は、公益法人制度改正により、公益法人の運営に関する枠組みが大きく見直され、当センターにおきましても、制度改正に対応するため、定款・規程類の確認、会計処理や情報開示方法の見直し、ガバナンス体制の強化など、必要な準備を進めました。さらに、フリーランス法(特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律)の施行に伴う新たなルールに対応するため、契約手続きの見直しを進め、会員が安心して就業できる環境整備に努めました。

1 事業実施状況報告

1 会員の増強

(1) 会員の確保

- ・広報委員によるシルバー機関紙「東郷のなかま」を発行したほか、町広報紙へ入会説明会などの情報を掲載、会員募集チラシのポスティングや各自治会への回覧など実施した。
- ・会員による会員紹介事業「新入会員紹介カード」活用により12名が入会した。
- ・月2回行っている新入会員説明会および女性限定説明会への参加者34名のうち25名が入会し、年度末会員は278名となり、前年度比16名の減少となった。

新入会員説明会	定例年24回・女性限定1回・個別対応4回 計29回開催 参加者46人
機関紙「東郷のなかま」発行	会員や公共施設へ配布 第74号(7月) 400部発行
事務局だより	会員へ配布 第3号(10月)
町広報紙	毎月掲載 新入会員説明会・仕事の受付・紹介等
ホームページ	随時更新 センターの紹介・入会手続き・活動情報等掲載
会員紹介カード事業	紹介人数14名内12名入会
東郷町暮らしの便利帳	会員募集広告掲載
町巡回バスデジタルサイネージ	町巡回バス車内モニターにて広告動画配信

(2) 女性会員の拡大

- ・東郷町シルバー女性会「ねえねの会」を中心に、町や地域包括支援センターが行う出前講座を活用した健康教室を開催し、会員の健康や体力、筋力の維持・向上に努めた。
- ・「寄せ植え教室」や「ミモザのリース作り」など仕事以外の楽しみの場を設け、参加者同士のつながりを広げ、会員からの口コミによる新規入会の促進を図った。

女性限定説明会	11月11日 参加者 4名
町出張講座「出張体力測定会」	5月30日 参加者 9名
包括センター出前講座「お薬にまつわる小話」	7月18日 参加者 13名
包括センター出前講座「転ばない体力づくり」	9月17日 参加者 13名
包括センター出前講座「かっこよく歩き続けるために」	10月17日 参加者 11名
包括センター出前講座「補聴器の耳よりな話」	11月19日 参加者 12名
寄せ植え教室「クリスマスとお正月の寄せ植え」	12月12日 参加者 11名
包括センター出前講座「シニアヨガ体験」	1月21日 参加者 8名
手芸教室「ミモザのリース作り」	3月11日 参加者 8名

(3) 会員の資質の向上

- ・技能講習会は、町総合体育館のトイレを講習会場として、清掃講習会を開催。男女14名の参加を得て、日常生活でも役立つ清掃の技術と知識の向上を図った。
- ・デジタル社会に対応するため、会員や町民を対象にしたスマホ教室を開催し操作や知識の向上を図った。

県シ連 庭木剪定講習会	11月11日 日進市民会館 町民参加者3名
スマホ教室	12月9日・1月16日 参加者34名
技能講習会 清掃講習会	3月17日 参加者14名

(4) 退会抑制

- ・新入会員や未就業会員の、過去の職種や経験、希望職種等を把握し早期就業へ向けてマッチングに努めた。
- ・加齢や病気で退会を希望する方には、ゴールド会員制度を紹介し退会抑制を促した。
- ・会員の仲間づくりの場として楽友同好会や生きがい教室を企画し、就業以外の居場所を提案した。

就業相談会	10・11月の普及啓発促進月間中随時開催
楽友同好会	5月31日 春の日帰り旅行「セントレア開港20周年を巡る」 参加者25名 10月26日 秋の日帰りバス旅行「墨俣一夜城址公園・奥の細道 むすびの地記念館を巡る」 参加者23名
ゴールド会員	20名(うち2名正会員に復帰)

2 就業拡大と安全・適正就業

(1) 就業開拓と就業機会の拡大

- ・シルバー事業普及促進月間中(10・11月)に会員募集や就業開拓のチラシを作成し、自治会回覧版、役員や会員等によるポスティング活動、文化産業まつりで配布するなど啓発をおこなった。
- ・会員意識調査を実施し、個々の希望職種や特技などを把握し、発注者の多様化する仕事のニーズに対応できるよう努めた。

事業普及 促進月間活動 (10・11月)	・会員募集等チラシ作成 ・チラシポスティング活動 一般家庭 2, 610部 ・自治会回覧依頼 19地区 1, 213部
奉仕活動	11月5日 公共施設・春木川周辺清掃活動 参加者47名
お客様満足度調査	発注者依頼60名 回答数47名
会員意識調査	会員数287名 回答数195名

- ・事業実績は、受託件数1, 280件(前年度比0.6%増)、就業延人数21, 100人(前年度比1%増)、配分金89, 319, 600円(前年度比2%増)で就業延人数、配分金と

も前年度を上回ることができた。

- ・派遣事業においては、受注件数9件(前年度比 1%減)、就業延人数2,518人(前年度比16%増)、派遣事業総額14,376,820円(前年度比8%増)であり、事務手数料分1,387,898円(前年度比8%増)が労働者派遣事業受託収益として財源となった。

介護予防・日常生活支援総合事業	就業延人数 870人	2,202,700円
家事援助サービス	就業延人数 132人	224,530円
シルバー生活応援隊	就業延人数 64人	36,850円
家具転倒防止器具取付事業	就業延人数 3人	20,482円

(2) 独自事業

- ・「愛デア工房」に関しては、女性会員の特技を活かし、カバンやサイフ、布草履など多種多様なオリジナル作品を事務所ロビーにて展示販売した。
- ・販路拡大が課題となっている中、愛知県シルバー人材センター連合会主催のシルバー人材フェスタin日進に参加し販売促進に努めた。

愛デア工房	手作り小物の販売 売上 85,750円
県シ連シルバー人材フェスタin日進	11月7日 手作り小物の販売 売上 2,600円
町文化産業まつり出店	11月9日 シルバーのお店 売上 63,100円

(3) 安全就業

- ・安全・適正就業委員会を年4回、熱中症予防やヘルメットの着用など、安全意識を徹底するため、安全パトロールを年2回実施した。
- ・令和7年度の事故件数は、賠償事故1件であった。
- ・安全運転講習会は、13名の参加を得て、車両事故に関するヒューマンエラーを解消するための講義を受けた。

安全委員会及び安全パトロール	6月16日・23日・7月28日・11月6日 町内草刈・庭木剪定・屋内清掃事業所巡回
教育訓練 安全運転講習会	3月19日 参加者13名

(4) 適正就業

- ・「適正就業ガイドライン」に基づき、是正の必要があるケースは、適正な契約形態に見直しを検討する。また、長期就業会員などには、必要に応じてローテーション就業やワークシェアリングを推進した。

適正就業ガイドライン説明	新入会員 25人 ・ 発注者 94事業所
--------------	----------------------

3 財務の強化及び組織の充実

(1) 事務費、配分金の検討

- ・インボイス制度による消費税の納税対策として、令和5年度から引続き事務費10%を継続する。

- ・愛知県最低賃金の改正に伴い、配分金の基本単価を見直し各事業所へ理解を求め年度契約を結んでいる。
- ・令和8年4月からフリーランス新法による新契約移行に伴い、配分金等に係る消費税の課税関係が変更されるため、各事業所へ説明資料を送付し理解を求めた。

(2) 事務の効率化

- ・フリーランス新法施行による新契約移行に備え、スマートフォンから業務仕様書や配分金明細書、就業情報などを閲覧できる会員専用サイト「スマイル to スマイル」の登録を推進した。
- ・会員への就業連絡や熱中症等の注意喚起、会議の通知等に関しても、スマイル to スマイルを始め、シルバー公式 LINE や SMS を活用し会員との連絡をデジタル化することで事務の効率化を促進した。

スマイル to スマイル 会員登録	278名中 211名(76%)
-------------------	-----------------

(3) 会員による自主運営体制

- ・定時総会を6月に開催し、理事会は、毎月定例会として入会承認をはじめ、決算関係、予算関係、補正予算関係、事業報告、事業計画について審議、承認した。
- ・第4次中期計画の4年目であり、安全・適正就業委員会による安全パトロールの実施、女性委員会によるイベント企画を増やし会員の安全と増強に努めた。
- ・14地区19名の地域連絡委員が、地域会員と事務局との繋ぎ役として各会員の情報収集や新会員の入会促進など連携強化を図ることができた。

○定時総会 6月11日	
議案第1号	令和6年度事業報告について
議案第2号	令和6年度決算について
議案第3号	役員の選任について
事業報告	令和6年度収支補正予算について
	令和7年度事業計画について
	令和7年度収支予算について
○理事会(議案の審議、事業報告について)	
第1回	4月22日 入会員の承認について 他2議案
第2回	5月22日 令和6年度事業報告について 他7議案
第3回	6月11日 会長の選定について 他3議案
第4回	6月20日 入会員の承認について(書面表決)
第5回	7月22日 入会員の承認について 他2議案
第6回	8月26日 入会員の承認について 他7議案
第7回	9月25日 入会員の承認について 他1議案
第8回	10月28日 入会員の承認について
第9回	11月25日 入会員の承認について
第10回	12月22日 入会員の承認について(書面表決)

第11回	1月27日	入会員の承認について	他1議案
第12回	2月24日	令和7年度収支補正予算(第2号)について	他3議案
第13回	3月24日	令和8年度事業計画について	他8議案
○監査			
5月16日	監事による令和6年度決算監査		
○委員会			
安全・適正就業委員会	6月19日・7月1日・11月6日・3月19日		
就業開拓委員会	5月19日・7月1日・9月11日・3月18日		
広報委員会	5月20日・7月1日・3月19日		
女性委員会	4月15日・2月20日		
○地域班会議(就業開拓サポート・会員連絡調整・文章の配布等)			
4月8日・5月27日・10月2日・1月30日・3月10日			
○職群班会議			
剪定班会議	8月28日		
資源回収ステーション会議	4月28日・6月23日・8月25日・10月27日 12月22日・2月16日		
宿直班会議	1月20日		

(4) 事務局体制の充実

- ・愛知県シルバー連合会や尾東地区事務連絡協議会等が実施する職員研修会や担当者会議、イベント等に積極的に参加し、他センター職員と意見交換し情報を共有するなど職員の資質向上を図った。
- ・令和7年度から2年間、愛知県シルバー人材センター連合会の幹事センターに当たり会長は、理事に就任し幹事会、理事会、女性委員会などの会議に出席した。

4 その他

- ・令和8年4月からフリーランス新法による新たな契約方法へ移行に伴い、公共団体や一般事業所などへ説明資料を送付し、理解を求めた。結果、数件の事業者から問合せをいただいたが、大半の発注者にご理解を得られ契約更新することができた。